

安全データシート (SDS)

スペースワン

1、製品および会社情報

製品名：スペースワン
 用途：便器の黄ばみ、黒ずみ除去、尿石の分解剤
 会社名：株式会社つやげん
 住所：〒145-0075 東京都大田区西嶺町 13-9
 電話番号：03-5741-8011（代表）
 担当部門：鶴見工場
 緊急連絡先 045-585-3912（鶴見工場）
 作成：平成 28 年 5 月 27 日

2、危険有害性の要約

物理化学的危険性		健康に対する有害性	
GHS分類	区分	GHS分類	区分
爆発物	分類対象外	急性毒性（経口）	区分外
可燃性又は引火性ガス（化学的に不安定なガスを含む）	分類対象外	急性毒性（経皮）	分類できない
エアゾール	分類対象外	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
支燃性又は酸化性ガス類	分類対象外	急性毒性（吸入：蒸気）	区分 4
高圧ガス	分類対象外	急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	区分 4
引火性液体	区分外	皮膚腐食性及び刺激性	区分 1
可燃性固体	分類対象外	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 1
自己反応性化学品	分類できない	呼吸器感作性	区分 1
自然発火性液体	分類できない	皮膚感作性	区分 1
自然発火性固体	分類対象外	生殖細胞変異原性	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない	発がん性	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない	生殖毒性	分類できない
酸化性液体	分類できない	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 2（中枢神経系、呼吸器系、血液、肝臓、腎臓）
酸化性固体	分類対象外	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 2（呼吸器系、歯）
有機過酸化物	分類対象外	吸引性呼吸器有害性	分類できない
金属腐食性物質	区分 1		
		環境に対する有害性	
		GHS分類	区分
		水生環境有害性（急性）	区分 2
		水生環境有害性（慢性）	分類できない

- GHSラベル要素
シンボル



■注意喚起語：危険

■危険有害性情報

- ：金属腐食のおそれ
- ：重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
- ：吸入すると有害
- ：吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ
- ：生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
- ：中枢神経系、呼吸器系、血液、肝臓、腎臓の障害のおそれ
- ：長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系、歯の障害のおそれ
- ：水生生物に毒性

注意書き

■安全対策

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 他の容器に移し替えないこと。
- ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- 環境への放出を避けること。
- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 換気が不十分な場合：呼吸用保護具を着用すること。

■応急措置

- 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。
- ただちに医師に連絡すること。
- 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- 呼吸に関する症状が出た場合には医師に連絡すること。
- 汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- 物質被害を防止するため流出したものを吸収すること。

■保管

- 施錠して保管すること。
- 耐腐食性、耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

■廃棄

- 内容物、容器、廃液を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3、組成、成分情報

■単一物質・混合物の区別：混合物

化学式または一般名	化学式	官報整理番号	CAS-No	安衛法番号	含有量 (%)
水	H ₂ O			非該当	非開示
塩化水素	HCl	(1) -215	7647-01-0	98	9.6
エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル	H ₉ C ₄ OC ₂ H ₄ OH	(2) -407	111-76-2	79	3.0
非イオン性界面活性剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
増粘剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
殺菌剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示

4、応急措置

■吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師の診断を受ける。

■皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。直ちに医師の診断を受ける。

■眼に入った場合：直ちに、多量の流水で15分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断を受ける。

■飲み込んだ場合：被災者に意識のある場合は水を飲ませ、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断を受ける。意識のない場合は口から何も与えてはならない。また、吐かせてもならない。直ちに医師の診断を受ける。

5、火災時の措置

消火剤：耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類、水。

特有の危険有害性：火災によって刺激性、腐食性または有毒ガスを発生することがある。加熱により容器が爆発するおそれがある。

特有の消化方法：火元への燃焼源の遮断する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。容器が熱に晒されている時は移さない。

安全に対処できるならば着火源を除去する。

消火を行う者の保護：適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6、漏出時

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：直ちに適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立ち入りを禁止する。密閉された場所に立ち入る前に換気する。

環境に対する注意事項：環境中に放出してはならない。

回収・中和：不活性材料（乾燥砂または土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

封じ込め及び浄化方法・機材：危険でなければ洩れを止める。

二次災害防止策：排水溝、下水溝、地下室あるいは密閉場所への流入を防ぐ。

7、取扱い及び保管上の注意

■取扱い

技術的対策：「8、暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気：「8、暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。

安全取扱注意事項：①適切な保護具（手袋、マスク、保護眼鏡等）を着用すること。

- ②取り扱い時には、液が皮膚や眼、口に付着しないように注意すること。
- ③一度容器から出した液は元の容器に戻さないこと。アルカリ性物質や他の洗剤類とは混合しないこと。
- ④屋内で使用する場合は換気に注意すること。
- ⑤用途以外には使用しないこと。
- ⑥取り扱いの都度、容器は密閉すること。
- ⑦容器の移動並びに開封時には注意して取り扱い、漏出や飛沫の飛散を防止すること。
- ⑧取り扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止すること。
- ⑨使用後は手洗いをよくすること。

接触回避：アルカリ性物質との接触を避ける。

■保管

小分け容器等は、内容液により腐食や溶解しない材質のものを選定する。ガラス容器、飲料用PET容器には保管しない。

保管条件：容器を密閉する。直接日光、40℃以上の高温、凍結の恐れのある場所を避け、換気の良い冷暗所に密閉、施錠して保管する。

8、暴露防止及び保護措置

管理濃度：未設定

許容濃度：塩化水素

日本産業衛生学会（2011年版）最大許容濃度 5ppm (7.5mg/m³)、ACGIH（2009年版）TLV-Ceiling 2ppm

設備対策：この製品を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具 呼吸器の保護具：通常の使用では必要としないが、必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を着用する。

眼の保護具：保護眼鏡を着用する

手指の保護具：ビニール手袋を着用する。

皮膚および身体の保護具：長袖作業着、必要に応じ保護服及び保護長靴を着用する。

9、物理的/科学的性質

色	無色透明
形状	液体
PH	1以下（25℃）
比重	1.050±0.005（25℃）
溶解度	水に任意に溶解
臭い	データなし
凝固点	0℃以下
沸点	約100℃
引火点	なし

10、安定性及び反応性

安定性：常温・常圧では安定。

危険有害反応性：アルカリ性物質と激しく反応し発熱する。多くの金属を溶解し、水素を発生する。

塩素系漂白剤、カビ取り剤等と混合すると有毒な塩素ガスが発生する恐れがある。

避けるべき条件：直接日光、40℃以上の高温、凍結の恐れのある環境

混触危険物質：アルカリ性物質、金属

危険有害な分解生成物：乾燥物は、燃焼等により塩素ガス、CO、NO_x、硫酸化物、アンモニアなどの有毒ガスを発生する恐れがある。

11、有害性情報

急性毒性：経口：混合物判定理論 LD50 推定値 A T E mix が 2,000mg / k g 以上であるため区分外とした。

経皮：データ不足のため分類できない。

吸入（蒸気）：混合物判定理論 LD50 推定値 A T E mix が 15,000ppm であるため区分 4 とした。

吸入（粉じん、ミスト）：混合物判定理論 LD50 推定値 A T E mix が 4.4mg/l であるため区分 4 とした。

皮膚腐食性及び刺激性：区分 1 の成分である塩化水素を 5%以上含むため区分 1 とした。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分 1 の成分である塩化水素を 3%以上含むため区分 1 とした。

呼吸器感作性：区分 1 の成分である塩化水素を 1%以上含むため区分 1 とした。

皮膚感作性：データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性：データ不足のため分類できない。

発がん性：データ不足のため分類できない。

生殖毒性：区分 2 のエチレングリコールモノノルマルブチルエーテルを 3.0%含むため区分 2 とした。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 1（中枢神経系、血液、腎臓、肝臓）のエチレングリコールモノノルマルブチルエーテルを 3.0%、区分 1（呼吸器系）の塩化水素を 9.6%含むため、区分 2（中枢神経系、呼吸器系、血液、肝臓、腎臓）とした。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 1（歯、呼吸器系）の塩化水素を 9.6%含むため区分 2 とした。区分 2（血液）のエチレングリコールモノノルマルブチルエーテルを 3.0%含む。

吸引性呼吸器有害性：データ不足のため分類できない。

12、環境影響情報

水生環境有害性（急性）：（毒性乗率×10×急性区分 1）+急性区分 2 が 25%を超えるため、区分 2 とした。

水生環境有害性（慢性）：データ不足のため分類できない。

生態毒性：データなし

生態蓄積性：データなし

残留性・分解性：データなし

13、廃棄上の注意

残余廃棄物：産業廃棄物処理認定業者に特別管理産業廃棄物（廃酸）として委託し処理すること。

汚染容器及び包装：容器は清浄にしてリサイクルするか関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切に処理する。

14、輸送上の注意

国際規制

国連分類（Class）：クラス 8

国連番号（UN No.）：3264

国内規制

陸上輸送：消防法、安衛法に定められている運送方法に従う。

海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件：容器の破損、腐食、漏出等がないことに注意・確認する。転倒、落下、破損がないような積載方法、荷崩れの防止を確実にを行う。

緊急措置指針番号：154

15、適用法令

国内適用法令

- 消防法 : 該当しない
- 労働安全衛生法 : 表示対象物質：エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル（3号の5）
（平成28年6月1日より）塩化水素（98号）
通知対象物質：塩化水素（98号）、エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル（79号）、
有機則：（第2種有機溶剤）エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル
- PRTR法 : 該当しない
- 毒劇物取締り法 : 該当しない
- 船舶安全法 : 腐食性物質
- 航空法 : 腐食性物質

16、その他の情報

記載内容のお問い合わせ

会社情報

住所：東京都大田区西嶺町 13-9

会社名 : 株式会社つやげん

電話番号：03-5741-8011

*危険性・有害性の情報は当社の最善の調査、評価にもとづいておりますが、必ずしも安全性を十分に保障するものではありません。化学物質の有害性には、予見できないこともあり、取り扱いには細心の注意を払って下さい。本品の適正な使用についてはご使用者の責任において使用くださいますようお願いいたします。